



インスピレーションになろう

ガバナー一月信

2018年10月号 Vol.4

2018-2019 年度ガバナー 川瀬康裕



Contents

My ROTARY(第3回)	1	第1回GETS(ガバナーエレクト研修セミナー)	11
米山月間に寄せて	3	受入ホストオリエンテーション	12
大谷ガバナーエレクト開所式	4	派遣学生帰国報告会	13
IM報告(第2・4・5分区)	5	新入会員紹介・訃報・出席報告	14
防減災セミナーに学ぶ	8	今後の予定・地区大会のご案内	16
第1回米山記念奨学委員長セミナー	9	ハイライトよねやま	17
		コーディネーターニュース	19



My ROTARY (第3回：みんなのロータリー！？)

クラブ戦略計画推進委員会
委員長 大澤 力(新潟西RC)

My ROTARY の3回目、今回はみんなのロータリーで最終回です。1回目をお読み頂きアカウント登録はお済みでしょうか？もしもまだなら1回目(ガバナー月信8月号参照)に登録の仕方をお示ししましたので、お願いします。3回目もアカウント登録が完了されている前提で実践的などところをご紹介します。アカウント登録は入り口に過ぎません。

“ラーニングセンター”2016-17年度まで各クラブの会長幹事さんがPETSに参加しますと「クラブを成功に導くリーダーシップ」会長編・幹事編・R財団委員長編等々、クラブリーダーのみならず各委員長の責務内容が解説されたマニュアル冊子が全クラブへ配布されていきました。昨年度PETSから配布されなくなり、今現在は全てMy ROTARYからダウンロードできます(My ROTARY→メニュー：ラーニング&参考資料→役割別→クラブの役割)。また、My ROTARY内ラーニングセンター(My ROTARY→メニュー：ラーニング&参考資料→ラーニングセンター→あなたの役割・役職)では、ワークショップ形式で各役割を学べて、完了すると修了証を発行してくれます。これは、クラブリーダー・各委員長のみならずガバナー・ガバナー補佐・地区委員や新入会員に至るまでみんなが同じように学べま



■ ラーニングセンター

フィルタ 23 項目 表示順: NAME (ASCENDING ORDER) 表示ビュー: ボックス

<p>あなたのクラブは健康ですか？</p> <p>日本語 ★★★★★☆</p> <p>登録</p>	<p>クラブの会員増強計画</p> <p>日本語 ★★★★★★</p> <p>登録</p>	<p>クラブロータリー財団委員会の基本</p> <p>登録</p>	<p>クラブ会員基盤の多様化</p> <p>日本語</p> <p>登録</p>	<p>クラブ会員増強委員会の基本</p> <p>登録</p>	<p>クラブ会計の基本</p> <p>登録</p>
<p>クラブ会長の基本</p>	<p>クラブ公共イメージ委員会の基本</p>	<p>クラブ奉仕プロジェクト委員会の基本</p>	<p>クラブ幹事の基本</p>	<p>クラブ管理運営委員会の基本</p>	<p>クラブ運営に柔軟性と革新を取り入れる</p>

す。RI がペーパーレス化した目的は単に経費削減・環境対策でなく、必要な人が必要な分だけ必要な知識を得られるという業務生産性向上の為かも知れません、というのはもちろん私の解釈です。更に2~3年前にここを見た印象は「つまらない」でしたが年々進化していて、今では必要なものがここに凝縮されているので「手放せない」という印象を受け、8月にも一新されました。

“ロータリーショーケース” 毎年度各クラブで地域実態・状況・ニーズを吟味した奉仕活動をされているかと思いますが、今まではどんなに有意義で受益者に喜ばれる活動をして紹介する場所はロータリーの友だけでしたが、My ROTARY 内ロータリーショーケース (My ROTARY→メニュー：会員コーナー→役立つツール→オンラインツール→ロータリーショーケース) では、全世界で紹介する事が出来ますし、全世界のクラブの奉仕活動が見られます。2018-19 年度ロータリー賞の受賞対象の1つに「クラブで成功させたプロジェクトの情報をロータリーショーケースに投稿する」とあります。簡単な項目ですので、ぜひチャレンジしてください。“ロータリー賞” に関しては (My ROTARY→メニュー：ニュース&メディア→RI 会長→ロータリー賞) でご確認ください。

。ロータリー賞を目指すことによって、クラブの向上と認識向上が果たされるように設定されており、ローターアクト・インターアクトクラブにも設定されており、提唱しているクラブは教えてあげてください。

“世界を変える行動人キャンペーン” 6月のRI トロント国際大会に参加してきましたが、街のバス停の宣伝広告にこれが使われており、日本ではありえない光景に唾然としてカメラのシャッターも押せませんでした。向こうのバス停広告は静止画でなく、動画です。奉仕活動をするロータリアンの姿が生き生きと紹介されている動画で、My ROTARY 内ブランドリソースセンターからダウンロードもできます。今やロータリーの宣伝方法はテレビ・ラジオを媒体とする時代ですが、クラブ予算を考えると、ポスターが最も適しています (My ROTARY→メニュー：会員コーナー→ブランドリソースセンター：言語を日本語に変換→世界を変える行動人)。重要なのはロータリーブランドと世間一般の認識を一致させることで、あなたのロータリーは“井の中の蛙、大海を知らず” になってしまっていないでしょうか？3回にわたりご通読ありがとうございました。

Rotary Showcase

ようこそ Tsutomu Osawa

より良い地域社会を目指して

毎日、世界中の地域社会で、何千という奉仕プロジェクトがロータリー・クラブによって行われています。地元や海外のロータリー・クラブの活動の数々をご覧ください。また、自分のクラブのプロジェクトを掲載し、世界中のロータリーのコミュニティーやフェイスブックの友達とぜひ情報を共有してください。

新プロジェクトを追加

ハイライト

Rotary Udumalpet Grants Project DG-1871387

Rotary in Literacy mission

実施地 インド

プロジェクトのカテゴリ 社会奉仕
基本的教育と識字率向上

ROTARY.ORG > MY ROTARY > ブランドリソースセンター

Rotary

ストーリーを伝える ガイドライン ログ 資料のテンプレート 広告 写真&動画

ブランドリソースセンター | 編集可能なテンプレート

「世界を変える行動人」印刷広告

検索結果の画面に戻る >

説明

「世界を変える行動人」の印刷広告のカスタマイズはこのテンプレートをご利用ください。まずは画像を選び、その趣旨の写真を挿入するか、既存の写真からお選びください。読み手に行動を呼びかけるメッセージもお忘れなく。

お問い合わせ: graphics@rotary.org.

「作成」をクリックし、広告文と写真を挿入することで、あなたが広告文と写真の所有者または使用権を有していること、また、写真に写っている人または子どもの親から、広告への掲載について承諾を得ていることを認めることとなります。

前回の更新日 2018/01/04

キーワード **アイデムの理解、広告、広告の理解、印刷、主題、世界を変える行動人**

作成





－ 米山月間によせて －

米山記念奨学委員会

委員長 宇尾野 隆(新潟 RC)

米山記念奨学事業は、1952年、東京ロータリークラブ創設者の1人である米山梅吉氏を偲び、東京ロータリークラブが「米山基金」設立したことに始まります。

そして、この事業は1957年に全国のロータリアンの活動になり、1967年に「財団法人米山記念奨学会」が設立されました。

昨年、財団化されて50年を迎え、今年の2月4日にグランドニッコー東京・台場で財団設立50周年記念式典が盛大に執り行われました。式典には国内外より700名以上が参加し、海外で活躍する学友（元奨学生）も多数、参加を致しました。

財団法人設立当時、年間59人だった奨学生は、今では年間800人、累計では世界125の国と地域の20,000人以上となっています。そして、米山学友（元奨学生）と現役奨学生によって組織されている学友会は、日本国内で33、海外では台湾・韓国・中国（上海）・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマーの9つと計42の学友会があります。学友会は、奨学期間終了後もロータリーとの絆を結び、学友同志の友情を深める役割を果たしています。

そして、各国で小学生や老人福祉施設などへの支援、奉仕活動を行っています。

また、台湾・韓国では日本人留学生に奨学金を支給しています。

このように、米山学友は「母国と日本を結ぶ懸け橋として世界平和に貢献する人材」という役割だけでなく、ロータリーの理念を理解し、世界中で奉仕活動を実践しています。

この事業の使命は、将来日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となり、平和と国際理解を推進する人材を育成することにあります。 本年は、第2560地区では新規18名、継続9名の計27名の米山奨学生でスタートしました。この奨学生を会員皆様の力で育てていただきますよう、また来年以降1人でも多くの奨学生を採用できますように、ご協力とご支援をお願い申し上げます。



「大谷ガバナーエレクト事務所開所式を終えて」

地区幹事 本山 秀樹(高田 RC)



今年の夏の残暑がようやく緩み、頸城平野の稲刈も進む中9月15日(土曜日)「百年料亭 宇喜世」にて大谷ガバナーエレクト事務所開所式を開催しました。当日は、ガバナー川瀬康裕様は病気療養中のため欠席されましたが直前ガバナー新保清久様はじめ多数のPastガバナー、第7分区内の関係者の皆様、ガバナースタッフ総勢51名の方々からご参加いただき盛會に会を進めることが出来



ました。開所式で大谷ガバナーエレクトは、「青天の霹靂でガバナーノミニーに昨年12月選出されたが、先週にはGETSに参加し正式にガバナーエレクトになりました。第7分区の代表として頑張りたい。」と挨拶されました。続いて欠席されたガバナー川瀬康裕様からの「大谷年度が輝く年度となることを祈念いたします。」との祝電が披露されました。引き続き、直前ガバナーの新保清久様、Pastガバナー渡辺敏彦様、Pastガバナー鈴木重彦様からも

熱いエールを送られ大谷ガバナーエレクトは緊張した面持ちでした。

開所式閉会の言葉として高田ロータリークラブ出身のPastガバナー東山昕也様から「高田ロータリークラブからは3人目のガバナー輩出になるが今日お集まりの皆様のお力添えを大谷さんに是非お願いしたい。」とのお言葉をいただき閉会になりました。

祝宴では、高田芸妓衆による祝舞が花を添え、Pastガバナー山崎堅輔様の乾杯のご発声に始まり和やかに宴が開始されました。宴席の中で地区幹事の私に対してもPastガバナーの皆様、前地区幹事丹治芳子様他大勢の方から温かい激励の言葉とアドバイスをいただき感謝申し上げます。1時間半余りの祝宴でしたが、みんなで楽しみ、みんなで語り合えた時間でした。最後にPastガバナー佐々木昌敏様から三本締めで締めていただき和やかな雰囲気うちに無事終了することが出来ました。また、ガバナー川瀬康裕様はじめ多数のPastガバナーからお花やご祝儀を頂戴し感謝申し上げます。

最後になりますが、今日を大谷ガバナー年度のスタートしスタッフ一同、力を合わせ大谷ガバナーエレクトを支える覚悟ですので国際ロータリー第2560地区会員皆様のご支援、ご協力をお願いします。



IM報告

第2分区ガバナー補佐 丸山 常彦(新潟中央 RC)



去る9月8日に新潟中央ロータリークラブのホストにより ANA クラウンプラザホテル飛翔間をお借りして、「自らのロータリーストーリーを作りましょう～楽しいロータリーライフを～」テーマと題して、第2分区のIMを開催させて頂きました。

開催冒頭、8月初めにお亡くなりになられました三条北ロータリークラブ所属、パストガバナーの中條耕二様のご冥福をお祈りいたしました。

本日のインターシティミーティングは初めに山本ガバナー代理より30分の講話して頂きました。今年度、バリー・ラシン国際ロータリー会長が掲げる国際ロータリーのテーマ「インスピレーションになろう」ビデオの後、ガバナー地区方針「自らのロータリーストーリーを作りましょう」のお話をいただきました。また、最近の国際ロータリーの状況のお話もお話をしていただきました。(3から2.5ゾーン)

2部講演「夢の実現 北原流 ツキの十ヶ条」と題して北原照久様(横浜 RC)よりご講演をいただきました。90分の講演でしたがあっという間に時間が過ぎてしまいました。その後、楽しい懇親会が始まり出席者の親睦交流が行われました。

終わりに、ご出席いただきました皆様ならびにご苦勞されましたホストクラブの皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



I M報告

『良寛の慈愛の心にロータリーの誠心を学ぶ』

第4分区ガバナー補佐
久住 勲夫(分水 RC)



9月8日(土)長岡市寺泊文化センター「はまなす」にて、新保清久担当
パストガバナーを迎えて、第4分区I Mが開催されました。

会場が公共施設のため、他の利用者の教室、会合もあるので、派手なア
トラクションを行えないという状況で、精一杯のおもてなしで接しようという気持ちで、
分水ロータリークラブ全会員で取り組みました。

新保清久担当パストガバナーの開会の挨拶の後、元ロータリー会員で、現在「分水良寛
会」会長の氏田公基氏から、良寛の生涯、生き方、慈愛の心、支援者、和歌、漢詩、俳
句の説明の講演が行われました。その内容を踏まえて、旧分水町生まれで、「越後語り
座」に在籍し、良寛、相馬御風、落谷虹児等の作品を朗読する、NST新潟総合テレビ
を経て、フリーアナウンサーとして活躍中の樋口幸子氏の朗読会が、音楽、音響、演出
を交えて厳かに行われました。「語り部」として、非情にクオリティが高く、品位と品
格があり、参加されたロータリアンの皆様からも大変な好評を得ました。

さて、良寛は出雲崎の名主の生まれで、本名は山本栄蔵。分水の儒学者大森子陽に学び、
17歳で出家。岡山県倉敷市の円通寺で修行後、諸国行脚の旅に出ています。40歳の
時に越後に戻り、五合庵に住み、74歳で亡くなっています。生涯、自分の寺を持たず、
粗末な草庵に住み、田植えや稲刈りで百姓が忙しい時に、子どもと遊び、詩歌を作り、
書を書き、日々托鉢で暮らす、無欲な人でした。分水町の玉木礼吉が「良寛全集」を発
刊、相馬御風の「良寛さま」の書籍により、全国で良寛の生き方が有名になりました。
その中で、マチという女性に字を教えるため、あの手、この手を使い、百姓であっても
「人はなぜ学ぶのか」「学びの豊さ」について、説いたお話しは感動のものでした。毎
日托鉢をして、一日五合の米があれば、自然の中で十分暮らせるとの考えから、草庵を
「五合庵」と名付け、五合庵に泥棒が入れば、盗む物が無いので、寝ている布団を盗ろ
うとしたので、盗りやすいように寝返りしてやったり、托鉢してせっかくもらった米を
生活の困っている人に分けてやったり、床下から生えてきた竹の子のために、床をはい
でやったりして、その慈悲深さに、ロータリーの精神である、奉仕の理念、慈愛の心が
良寛と通ずるものがあると感じました。

又、懇親会は寺泊の老舗旅館「住吉屋」に移動。会場に参加者はギリギリで「手に手つ
ないで」斉唱

がなんとか
できました。
皆様に大変
ご迷惑をか
けました。
最後に第4
分区11ク
ラブの皆様
のご協力に
心から感謝
申し上げます。



IM報告



第5分区ガバナー補佐
佐藤 一男 (栃尾RC)

9月8日(土) 栃尾産業交流センター「おりなす」において2012-2013年度RI会長田中作次様並びに鈴木PG、田中PGをご来賓にお迎えし、7クラブ170名の登録をいただき第5分区IMを開催いたしました。

午後0時30分より受付を開始し、午後1時30分より第1部式典に入り最初に元RI会長田中作次様より7クラブから受けていた質問を親切ていねいに、わかりやすくお答えいただき続いて「何故奉仕を通じて平和か」という演題でご講演いただきました。世界70カ国を訪問したエピソードなど、とても興味深いお話しでした。

その後、第2部オープニングとして芳香稚草園の園児30名による和太鼓の演奏で懇親会が始まり、栃尾の油あげとぜんまい、にしん、車麩の煮物など地元ならではの料理と栃尾の地酒を召し上がっていただき皆様から大好評をいただきました。

最後に来年IM開催クラブ、長岡西RC沖野会長より締めをいただき無事終了いたしました。参加いただきましたロータリアンの皆様、本当にありがとうございました。



防減災セミナーに学ぶ



ロータリー地域協働ネットワークセンター
センター長 高橋 悟 (雪国魚沼 RC)

一年のうちニュースになる災害がこんなに多く聞かれる年も珍しいと思います。冬の北陸地方の豪雪、春の突風、梅雨時期の豪雨、大型の台風、頻発する地震、大火と連日のように報道されています。

私たち国際ロータリー第2560地区地域協働ネットワークセンターは、こうした時代にロータリアンはもとより、ロータリー家族と共に「地域と協働するロータリー」を具現化するため、ガバナーをはじめとして防減災意識の高揚を目的に地区内ロータリークラブが連携した活動を目的としています。

今年度は8月5日長岡商工会議所大ホールを会場として防減災セミナーを開催いたしました。

地区地域協働ネットワークセンター顧問 鈴木重彦パストガバナーの講話に始まり、(公社)中越防災安全推進機構地域防災センターはじめ防衛省自衛隊地方協力本部、陸上自衛隊高田駐屯地、新潟県隊友会、日本ボーイスカウト新潟連盟、新潟いのちの電話、新潟犯罪被害者支援センター、日本青年会議所新潟ブロック協議会、RI2560地区ローターアクトの連携団体皆様から活動をご紹介いただき、「いざに備える」危機意識の共有を図りました。

災害時に団体間の連携を図ろうとしても十分な情報の交換ができない現実を体験してきましたが、こうしたセミナーは回を重ね互いの顔を確認することで瞬時の情報交換が可能となることの大切さを教えてくれます。

災害時の最も怖いことは正確な情報が入手できないことです。

過去には不安を煽る愉快犯による流言飛語や、極端に偏ったマスメディアの情報から発生する風評被害など生活が脅かされる場面もありました。

私たち地域協働ネットワークセンターの使命は、正しい情報の収集と発信を目的にロータリアンはもとより地域に安全と安心を提供することにあります。

今後も連携団体との連絡を密にし、RI2560地区事務所、同ガバナー事務所からクラブ連絡員に逐次の情報を提供させていただきます。



— 第1回米山記念奨学委員長セミナー —

米山記念奨学委員会
委員長 宇尾野 隆(新潟 RC)



9月1日(土)にホテルイタリア軒(新潟市)にて、各クラブの米山記念奨学委員長50名、地区役員3名、地区米山記念奨学委員14名、計67名の参加をいただき、第1回米山記念奨学委員長セミナーを開催させていただきました。

最初に、新保清久担当パストガバナー、続いて大谷光夫ガバナーエレクトよりご挨拶をいただき、セミナーに入りました。

今回のセミナーは講師に第3代よねやま親善大使・アブデルアール・アハメドさんをお招きし、「奇跡の出会い」というテーマでお話をいただきました。

アハメドさんは、エジプトのルクソールに生まれ、大学で勉強する傍ら、カイロの日本文化センターで日本語を学び、大学卒業後に一時、就職したものの、その後、語学力の向上を目指して日本に私費留学を果たしたそうであります。

そして2012年4月、関西大学大学院修士課程に進学。翌年から第2660地区大東中央RCが世話クラブとなり、2年間、米山記念奨学生を経験されました。

現在は、早稲田大学大学院博士課程で考古学を専攻されているそうですが、エジプトでの大学進学、日本への留学の時素晴らしい人に出会い、後押しをされ、勇気付けられて現在に至っているというお話をされました。

その後、本年度、第2560地区で採用された奨学生になった韓国の許龍太(ホヨンテ・新潟大学修士課程・新潟万代RC)さん、カザフスタンのバウベククズ・ジャンサヤ(事業創造大学院大学修士課程・新潟中央RC)さんの2名より、奨学生としての体験発表をしていただきました。

そして、最後に米山



記念奨学委員会より、米山記念奨学事業と寄付の現状について説明をさせていただき、寄付増進のお願いをさせていただきました。

参加された各委員長の皆様は、米山学友である第3代よねやま親善大使・アハメドさんのロータリーに対する思いとロータリーの理念を受け継いでいる姿勢に感銘を受けられているようでありました。

また、当地区の奨学生の思いに触れ、この事業の意義を実感されたことと思います。

お忙しい中、参加されたました皆様に、心より御礼を申し上げまして、ご報告とさせていただきます。



バウベククズ ジャンサヤさん



許 龍太さん



アブデルアール・アハメドさん

2018 第 1 回 GETS (ガバナーエレクト研修セミナー)

2018-2019 第 2560 地区
ガバナーエレクト 大谷 光夫



2018年9月3日(月)・4日(火)に開催されたGETSに行っていました。

事前情報では、当地区パストガバナーからハードな研修であると言われておりましたので、気を引締めて出席しました。

(第一日目)朝8時15分受付～夕方6時、(第二日目)朝9時～夕方5時30分。上記二日間でセッションが9回、本会議が3回ありロータリーを学んでまいりました。昨年11月に行われたGNTS(ガバナーノミニ研修)の資料をもとにしたGETSでしたので、GNTSに参加していない私はちょっと焦ってしまいましたが、出席されているガバナーエレクト(GE)から何かとフォローしていただき、何とか無事に二日間の研修を修了することが出来ました。初めてお会いしたGEの方達ですが、改めてロータリーの友情を、身を持って感じました。

パートナー同伴研修は妻も一緒に出席しましたが、あまりロータリーを知らない妻もロータリーの友達って「すごい」と感動していましたし、十数人の奥様達と昔からの友達のような関係が作れたと喜んでいました。ロータリーの本質、親睦と友達作りが一瞬で成り立った場面は、私の43年間のロータリーライフの中で初めての経験でした。大変良い機会を与えていただきました2560地区のロータリアンの皆様に感謝しております。

11月のロータリー研究会、RI会長講演、1月の国際協議会、そして19～20に向けて地区内での準備が今後目白押しですが、GETSで得た教訓を元に精一杯のロータリー活動を心掛けてまいる所存であります。皆様には益々のご支援ご協力賜りますよう心からお願いいたしまして、GETS報告とさせていただきます。





受入ホストオリエンテーション

青少年交換委員会

委員長 三牧 好起(頸北 RC)

9月1日に長期交換受入学生、ホスト関係者オリエンテーションをホテルイタリア軒にて開催いたしました。まずはインバウンドの学生達をご紹介致します。

Rane Bieker	レイン バイカー (アメリカ) 新潟 RC
John Skendzel	ジョン スケンゼル (アメリカ) 高田 RC
Alina Birkenheuer	アリーナ ベルケンホイヤー (ドイツ) 新潟南 RC
Tobias Seidenberg	トービヤス サイデンバーグ (ドイツ) 頸北 RC

学生達は、日本語を勉強して来日しておりまして普通に問題なく会話できる学生もいて驚きました。当地区も派遣学生には指導していきたいと思います。

さて、オリエンテーションの内容は次の通りです。



■受入学生オリエンテーション

ロータリーの国際ルールである交換学生として決してしてはならない事をはじめとして、派遣学生としての自覚、意識をしっかりと持ってもらうために注意事項を伝えました。ルールを守り一年間頑張ってくださいと思います。

(4D ルール)

- ・ Drive : 自動車、オートバイ、飛行機など原動機 (エンジン) 付の乗り物を運転する事
 - ・ Drink : アルコール飲料を飲むこと、たばこを吸うこと
 - ・ Date : 恋愛関係におぼれること、男女 (等) の緊密な付き合い
 - ・ Drug : マリファナ、コカイン、覚せい剤、麻薬類などは決して使ってはなりません
- 上記4項目以外に、その国の法律を守ることアルバイトの禁止校則を守ること等があります
これらを破った場合は強制送還されます。

■ホストクラブ、ホストファミリーオリエンテーション

学生を受け入れて頂くホスト関係者の皆様へは様々なお願いをさせて頂きました。ホストファミリーの対応、ロータリー行事への出席、報告書の提出、貴重品の管理、受入学生の地区外 (県外) への移動届け、カウンセラーの役割、インターネットの使用制限、緊急時の対応等です。

また、当日はこの他にホストファミリー経験者からのアドバイスや学生懇談会も実施しました。当委員会は、ホスト関係者のサポートをしっかりと行いたいと思いますので、一年間どうぞよろしくお願い致します。





国際ロータリー第 2560 地区 派遣学生帰国報告会

青少年交換委員会

委員長 三牧 好起(頸北 RC)

9月17日にホテルオークラ新潟にて、帰国報告会を開催致しました。報告した学生は長期派遣学生3名、短期派遣学生5名、参加者は約60名となりました。

長期派遣学生の報告では、派遣先で言葉での苦勞、ホームシック、友人ができるか等の不安についてや、学校やホストファミリーとの楽しい思い出、派遣先で学んだ事について様々な報告がありました。また、短期派遣学生からも同様にそれぞれが経験した事を発表して頂きました。共通して学生たちからは、「このような機会を与えて頂いたロータリークラブの皆様には感謝しております。」との言葉を頂いておりますことについて、ここにご報告いたします。

最後に学生達の派遣について、ご協力頂きました各クラブの関係者の皆様には、大変お世話になりました誠にありがとうございました。今後とも青少年交換事業についてよろしくお願い致します。

尚、報告者、派遣先、スポンサークラブについては、次の通りです。

長期派遣学生

野口 希子	のぐち きこ	韓 国 (新潟東RC)
有田 嬉来	ありた きき	ドイツ (新潟南RC)
米山 美優	よねやま みゆう	カナダ (高田東RC)

短期派遣学生

佐久間 結子	さくま ゆいこ	アメリカ (新潟西RC)
宮田 夏美	みやた なつみ	アメリカ (雪国魚沼RC)
池亀 達矢	いけがめ たつや	アメリカ (越後春日山RC)
三牧 陽向	みまき ひなた	アメリカ (頸北RC)
猪又 康成	いのまた こうせい	アメリカ (糸魚川RC)



新入会員紹介

RC	氏名	入会日	会社名	職業分類
新発田城南	渡辺 一秋	2018.9.13	割烹 はまや	割烹
佐渡南	本間 妙薫	2018.9.1	(宗)大光寺	僧侶
新潟万代	池田 新太郎	2018.8.6	大塚住宅建材(株)	建築資材販売
栃尾	中村 正隆	2018.9.1	(株)中村組	クレーン関連事業
柏崎中央	阿武 逸彦	2018.9.4	三穂エンジニアリング(株)	電気計装工事
直江津	楡井 義康	2018.9.1	東日本電信電話(株) 上越営業支店	電気通信業
直江津	鈴木 文博	2018.9.11	東北電力(株)上越火力発電所建設所	電気業
新井	岡山 慎太郎	2018.9.19	(有)旅館おかやま	旅館業

訃報

クラブ名	氏名	ご逝去日	会社名
白根 RC	朝倉 勝子 様	2018.8.23	旅館 あさ倉

糸魚川中央 RC 木島 哲夫 様 2018.9.10

■ロータリー歴

1999-2000 クラブ会長

2003-2004 年第7分区アシスタントガバナー

名誉会員

心よりご冥福をお祈りいたします。



第2560地区 2018-19年度 8月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年 7月1日	8月末 会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	△	86.73	375	381	37	6
新発田	2	97.35	95	98	0	3
村上	4	84.46	37	37	9	0
水原	4	87.50	27	27	0	0
中条	4	92.36	36	36	3	0
新発田城南	4	77.06	43	44	4	1
豊栄	3	90.27	24	24	3	0
新発田中央	3	86.57	49	51	5	2
中条胎内	4	86.49	37	37	7	0
村上岩船	3	78.49	27	27	6	0
第2分區(9クラブ)	△	84.01	437	449	19	12
新潟	3	87.89	86	91	0	5
新潟東	4	80.27	57	60	7	3
新潟南	4	82.62	104	104	2	0
佐渡	4	88.90	7	7	0	0
新潟西	4	75.04	39	41	1	2
佐渡南	3	97.23	41	41	4	0
新潟北	3	76.67	40	41	0	1
新潟中央	3	88.00	25	25	0	0
新潟万代	3	79.45	38	39	5	1
第3分區(6クラブ)	△	79.09	117	115	4	-2
新津	4	73.69	18	19	0	1
村松	3	96.27	9	9	0	0
五泉	3	72.22	13	12	1	-1
白根	4	87.05	37	36	1	-1
新津中央	3	77.78	30	29	1	-1
阿賀野川ライン	4	67.50	10	10	1	0
第4分區(11クラブ)	△	78.31	365	376	26	11
三条	4	85.39	56	60	0	4
燕	4	58.32	33	34	2	1
加茂	4	75.59	28	30	5	2
三条南	3	85.98	48	48	3	0
分水	3	77.90	28	29	3	1
見附	4	70.00	20	20	1	0
吉田	4	86.10	28	30	3	2
三条北	3	79.36	64	63	2	-1
巻	4	83.80	20	22	1	2
田上あじさい	3	85.70	7	7	1	0
三条東	4	73.28	33	33	5	0

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年 7月1日	8月末 会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	△	85.02	316	322	24	6
長岡	3	82.88	45	48	1	3
柏崎	4	81.01	43	44	0	1
長岡東	3	88.75	67	67	5	0
柏崎東	3	89.03	48	48	4	0
栃尾	3	88.71	22	23	0	1
長岡西	3	83.34	56	56	5	0
柏崎中央	3	81.45	35	36	9	1
第6分區(6クラブ)	△	79.39	149	150	10	1
十日町	3	93.13	33	34	3	1
小千谷	4	66.68	33	33	4	0
雪国魚沼	4	70.20	27	27	2	0
十日町北	3	92.42	22	22	0	0
津南	3	77.76	27	27	1	0
越後魚沼	3	76.16	7	7	0	0
第7分區(8クラブ)	△	83.29	330	333	22	3
高田	4	99.12	65	65	0	0
直江津	3	70.79	61	61	4	0
新井	4	79.69	30	33	2	3
糸魚川	4	91.07	41	42	3	1
高田東	2	81.08	37	36	2	-1
糸魚川中央	4	80.00	36	36	0	0
頸北	4	89.60	15	15	1	0
越後春日山	3	75.00	45	45	10	0

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,089	人
8月末 会員数	2,126	人
女性会員数	142	人
純増減会員数	37	人
当月平均出席率	82.33	%

10月地区の予定 【経済と地域社会の発展月間・米山月間】(RI レート:\$1=¥112)

	地区主要行事	会場
4 (木)	地区大会記念親睦ゴルフ大会	湯田上カントリークラブ
6 (土)	奉仕プロジェクト委員会セミナー	燕三条リサーチコア
13 (土)	米山記念奨学生親睦交流会	SUWADA ゆもとや 弥彦神社
27 (土)	長岡東 RC 創立 60 周年記念式典	ホテルニューオータニ長岡

11月地区の予定 【ロータリー財団月間】

	地区主要行事	会場
10 (土)	川瀬年度 地区大会 1 日目 / RI 会長代理歓迎晩餐会	燕三条ワシントンホテル
11 (日)	川瀬年度 地区大会 2 日目	燕三条地場産業振興センター
17 (土)	米山記念奨学生学友会総会・面接官オリエンテーション	ホテルオークラ新潟
18 (日)	ロータリー財団地域セミナー	神戸ポートピアホテル
19 (月)	第 2 回ガバナー会議	神戸ポートピアホテル
19 (月)	RI 会長歓迎晩餐会	神戸ポートピアホテル
19 (月)	メジャードナー午餐会	神戸ポートピアホテル
19 (月)	第 2 回ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)、ガバナーノミニー研修セミナー (GNTS)	神戸ポートピアホテル
20(火)-21(水)	ロータリー研究会	神戸ポートピアホテル
23 (金)	2019-20 年度長期派遣奨学生選考試験	越前屋ホテル

国際ロータリー第 2560 地区 2018-2019 年度

地区大会のご案内



会期 2018 年 11 月 10 日(土)~11 日(日)

会場 燕三条ワシントンホテル
燕三条地場産業振興センター

記念講演

演題「ロータリーと東京2020大会レガシー」

講師 水野 正人(東京 RC)

Profile

1943 年 5 月 25 日生 ミズノ株式会社 相談役会長
元 東京 2020 オリンピック パラリンピック招致委員会 CEO





理事会・評議員会報告 -役員改選で新理事長就任-

下記の通り、理事会（8/21 開催・書面）および定時評議員会（9/6 開催）を開催しました。

第二十回理事会 議長：小沢一彦理事長 出席者：理事 27 人 監事 2 人 列席者 3 人

【主な議題】評議員後任候補者、理事・監事候補者、2017 年度事業報告および附属明細書、2017 年度計算書類、2018 年度収支予算書一部修正、専門委員選任、定時評議員会招集など：原案通り承認

第九回評議員会 議長：仲田昌弘評議員 出席者：評議員 20 人 常務理事・監事 8 人 列席者 1 人

【主な議題】定款変更、2018 年度評議員の選任、2018 年度理事・監事の選任、2017 年度計算書類承認など：原案通り承認

理事会および評議員会の前には、直前 R I 理事としてご列席の斎藤直美氏から「米山記念奨学会の意義」について、また、(公財) 米山梅吉記念館理事長であり、当会評議員である積惟貞氏から「米山梅吉記念館創立 50 周年記念事業」についてのお話をいただきました。各会議終了後には、それぞれ退任される理事、評議員への感謝状贈呈を行いました。また、両会議において、任期満了で理事長を退く小沢一彦氏から最後のごあいさつを頂きました。評議員会終了後のセレモニーでは、斎藤直美氏から小沢一彦氏に感謝状が贈呈されました。



小沢前理事長(左)と斎藤新理事長

第二十一回理事会

評議員会での理事選任を受けて、決議の省略による理事会（書面決議）を開催し、右記の役員が選定されました。

理事長：	斎藤直美氏 (2760)	
副理事長：	埴 東男氏 (2820)	若林紀男氏 (2660)
常務理事：	武田和夫氏 (2800)	山崎淳一氏 (2830)
	水野 功氏 (2750)	滝澤功治氏 (2680)
名誉理事長：	小沢一彦氏 (2780)	

GETS でよねやま親善大使がスピーチ

9月3日～4日に都内で開催されたガバナーエレクト研修セミナー (GETS) の2日目午後・閉会本会議において、当会の小沢一彦理事長と岩邊俊久事務局長が米山記念奨学事業の現況報告を行いました。小沢理事長はこの4年を振り返り、「米山ほどロータリーのためになり、平和のためになるプログラムはない。ぜひこの奨学事業に参画していただきたい」と、ガバナーエレクトにメッセージを送りました。

続く「学友3名のスピーチ」のセッションでは、ロータリー財団 (グローバル補助金) 学友と ROTEX 学友と共に、よねやま親善大使のアブデルアール・アハメドさんが登壇し、「米山奨学

生に選ばれて～奇跡の出会い～」と題してスピーチしました。母国エジプトの紹介をはじめ、「誰がカウンセラーかわからないくらい、皆さんにお世話になった」という世話クラブとの交流、研究の傍ら尽力する、日本の子どもたちへの異文化交流活動についての思いなどを語りました。アハメドさんならではの、ユーモアたっぷりのスピーチに会場は何度も笑いに包まれ、終わりには大きな拍手が送られました。



寄付金速報 - 10月の米山月間に向けて -

8月までの寄付金は前年同期と比べて0.7%減（普通寄付金:1.4%増、特別寄付金:4.4%減）となりました。昨年1千万円の大口寄付をいただいたこともあり、前年度比では多少減少したものの、直近15年間では2番目に高い寄付累計額となりました。心より厚く御礼申し上げます。

当財団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当奨学会への寄付金には所得税、法人税の税制優遇が受けられます。相続税も非課税となります。今年度もぜひご協力ください。詳細は当会ホームページをご覧くださいませよう、よろしくお願いたします。

2地区協同で一級河川の清掃活動

9月1日、柿田川湧水公園の清掃奉仕活動が行われ、第2620地区（山梨・静岡）と第2580地区（東京）の奨学生・ロータリアン、第2620地区米山学友会、同地区インターアクトなど、合わせて約150人が参加しました。

この活動はもともと沼津柿田川RCが長年続けていたもので、4年前から地区の活動となりました。また、奨学生を連れた研修旅行で毎年米山梅吉記念館を訪れていた第2580地区では、当時の地区米山奨学委員長の働き掛けもあり、第2620地区と協同でこの柿田川湧水公園清掃活動を行



行うことになったとのことです。

米山奨学生やローターアクトたちは、胸までの胴付き長靴を着用し、冷たい川の中に入って外来植物を除去したり、公園内の草むしりをして、汗をかきながら清流の維持に一役買いました。

台湾学友会による日本人への奨学金が10年目

台湾米山学友会（正式名称：（社）中華民国扶輪米山会）による台湾版米山記念奨学事業「日本人若手研究者奨学金」が設立10年目を迎えました。6月末の締切までに19人の応募があり、台湾米山学友会理事会による選考の結果、過去

最多となる5人の合格が決定しました。合格者には今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドル（約90,000円）が支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。



山中 彩

国立台南藝術大学大学院、繊維専攻。染色工芸における表現技法



小島 和華子

国立中興大学大学院、生物医学専攻。うつ病患者の痛み知覚緩和



小菅 理沙

国立台湾大学。東アジア地域包括的経済連携における台湾の参加



松葉 隼

国立政治大学大学院。日本統治期における台湾の交通網形成



烏谷 亜紗子

国立屏東科技大学大学院、農園生産専攻。AI式改良SRI水稲栽培



■ 「増加及び増強について」

会員増加および増強が必要とすれば、根本的には質と数との問題はありますが、なぜ増加及び増強が必要なのかを理解しこの事を原動力とすることが大切だと思います。

RIロータリー章典(2017年6月版)によれば、「5.010.会員増加および増強」および「5.010.1.会員の増加における個々のロータリアンの役割」には「ロータリー会員であることの利点を他の人に推進することは、全てのロータリアンにとって共通した個人的な責務である。」と記されています。また、ロータリーの目的の第1には、知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること、とされています。これらからすると、そもそも会員増加および増強は全てのロータリアンの責務なのです。

個々の地区やクラブの問題として考えてみた場合には、1つの指針として「ロータリー章典(2017年6月版)17.010.3.地区の規模」には「クラブ数が75に満たない、また所属ロータリアン数が2700名に満たない地区にこれらの数に達するよう奨励している」となっています。これらからするとこの基準を満たすまでは増加および増強の必然性ありと判断されますが、では基準を満たしている地区はこれ以上増加及び増強の必要はなくても良いのでしょうか？

1地区平均2700名止まりで良いとするなら我国は34地区ですから合計で91800人程度となり、RIは1ゾーン35000人±10%が必要としていますので、これでは3ゾーン(105000人必要)を保つ事が出来ません。3ゾーン体制を保つなら現状では計算上1地区平均3100人が必要となりますが、全ての地区やクラブがこの基準に達する事には中々計算通りにはいかないでしょう。

日本は今までの3ゾーン体制が今後2.5ゾーンに減少することが決定しています。日本のロータリアン数は現状90000人弱ですから元の3ゾーン体制に戻すなら人数的には全国で約15000人の増加が必要となります。基本的に個々の地区ではなく、日本ロータリー全体(各ゾーン)の問題として増加および増強を優先して考える事だと思います。

大きな地区はより大きく、小さな地区は少なくとも基準に向かっての普段の努力が求められます。短期的(3~5年程度)で純増15000人(1地区平均純増450人程度)の増加は可能でしょうか？簡単に可能な地区もあれば、中々難しい地区もあるかも知れませんが、数字的にみれば6人のロータリアン(全国で15000組)が数年で1人以上の会員を確実に入れれば達成できる数なのです。60人の会員数のクラブであれば、10人の会員増となります。

1つのメルクマールとして6人組を作ってはどうでしょうか。1つの方法論として申し上げました。

第1ゾーンロータリーコーディネーター補佐 坂本元彦 (富士見)

■ 「会員基盤向上セミナーから感じたこと」

今年も3月末に「会員基盤向上セミナー」が200名を越える参加者を得て、大変熱気に溢れたセミナーが開催出来、開催者の1人としてホッとすると共に各地区が会員増強・退会防止に苦慮していることを改めて強く感じました。

今回は、会員増強に成功された事例を多くご紹介することに重点を置いて、RC・RPIC・RRFCの方々準備を進めました。今回、取り分け反響が大きかったのは、大宮西RC高橋会長、東京八王子西RCの三浦PAGの事例紹介であったと感じています。その両名のお話に共通していたことは、誰がリーダーシップを取るのか、会員各位も増強や退会防止に関心はあるが、最初の一步をどう踏み出すかということが一番重要だと強調されていました。

増強に成功されているクラブは多かれ少なかれ、また形を変えてクラブの「戦略計画」を持たれています。八王子西RCは創立50周年を一つの契機にクラブ全体で50周年に100名を達成するという共通認識を持ち、会員各位がそれぞれ役割を持ち推進し、結果目標を達成したとお聞きしました。その勢いは、現在も続いており115名から120名を視野に増強を続けていると伺っています。

地区を上げての取り組みの成功例は2840地区が2013-14年度からの3年間で150名を越す増強に成功されていますが、ガバナー、エレクト、ノミニーとの連携で戦略計画を策定され、大きな成果を上げられました。

また、全国で最も会員数の多い2760地区は昨年度、神野ガバナーのリーダーシップの下、地区を挙げてクラブの戦略計画導入に尽力され、5000名に届く勢いの増強とクラブ拡大を達成されています。どんな組織でも、目標を持ち、それを実現するための計画が必要とされています。組織はその戦略に従うものであり、組織ありきでは決してありません。最初のリーダーシップを誰が取り、力強い第一歩を踏み出すのかが、各クラブ、またそれを支える地区チームにとって最大の課題であると感じています。それを出来るのは、やはり会長であり、ガバナーであると思います。ただ、大事なことはガバナー年度、会長年度になって出来るものではなく、エレクト、ノミニーの時代からの思いと連携が必要であると考えます。また、強調したいのは、パストという役割です。パストは終わりを意味するのではなく、次の始まりであるとの認識が必要です。戦略計画を実行していく上で、パストの役割は大きいと感じています。あくまでも、現年度のサポートという役割です。さて、最後に多様性についてですが、基本はやはり職業分類にあると思います。クラブが末永く繁栄していくためには、様々な意味で多様性が必要であることは論を待たないと考えます。その基本にはクラブの構成メンバーのバランスが肝要だと強く思います。2760地区を拝見していると、その重要性を改めて感じます。もちろん、年齢構成、女性会員の比率なども重要ですが、職業分類の多様性もクラブの戦略計画を策定する場合の大事な要因であると思います。会長、ガバナーには最初の一步を力強く踏み出していただきたいと思います！再度、3ゾーン復活を目指しましょう。

第2ゾーンロータリーコーディネーター補佐 水野 功(東京飛火野)